

2022年漣川郡長杯全国聾啞者野球大会 及び日本ろう野球協会チーム招待試合

実施要綱

- ・名称：2022年漣川郡長杯全国聾啞者野球大会及び日本ろう野球協会チーム招待試合
- ・概要：全国のろう（聴覚障害）者が野球を通して競い合い、健康な心と身体を養い、自立と社会参加を促進し、あわせて世界のろう（聴覚障害）者に対する正しい理解を深める。
- ・主催：漣川郡庁
- ・主管：韓国聾啞者野球ソフトボール連盟
- ・日程：2022年 7月23日(土) 8月25日(木)～8月29日(月)
7月23日(土) 組み合わせ抽選会（監督・主将のみ出席）
ソウル市永登浦区議事堂大路 22. [イルムセンター]
8月27日(土)～8月28日(日) 野球大会
韓国・漣川郡 漣川ベースボールパーク野球場1, 2野球場
- ・野球場：韓国・漣川郡 漣川ベースボールパーク野球場第1, 2野球場
- ・宿泊先：韓国・京畿道漣川郡新西面高臺山道 132
漣川高臺山キャンピングリゾートコンドミニアム
- ・スケジュール：
 - ・8月25日(木) 日本出発日(移動日)
集合 成田空港第三ターミナル 朝6時30分(予定)
韓国・ソウル(仁川空港) 12時頃到着
空港で通関手続き、PCR検査、昼食後、送迎バスで宿泊先へ。
所要時間2時間位で宿泊先へ 到着後、部屋割り、
夕食、自由行動
 - ・8月26日(金) 練習日(午前中 朝食、昼食 自由行動)
現地12時集合(予定) 宿泊先よりバスか徒歩で野球場へ
4時間位練習 練習終了後、バスか徒歩で宿泊地へ
夕食(17:30～19:30)、自由行動
 - ・8月27日(土) 試合日(開会式も含む)
朝食(7:00～9:00)
現地8時集合(予定) 宿泊先よりバスか徒歩で野球場へ。
2試合の予定 開会式、トーナメント戦
内容によってナイター実施もあります。
試合終了後、バスか徒歩で宿泊地へ。
宿泊地到着後、夕食(17:30～19:30)、自由行動

- ・ 8月28日(日) 試合日 (閉会式も含む)
 - 朝食 (7:00~9:00)
 - 現地8時集合 (予定) 宿泊先よりバスか徒歩で野球場へ。
 - 2試合の予定 トーナメント戦、表彰式、閉会式
 - 大会終了後、バスか徒歩で宿泊地へ。
 - 宿泊地到着後、夕食 (17:30~19:30)、自由行動

- ・ 8月29日(月) 日本帰国日(移動日)
 - 早朝6時頃、送迎バスで宿泊先出発。
 - 仁川空港到着後PCR検査、受託手荷物手続き、土産など買物、通関手続き後出国 12:55出発
 - 成田空港15:30到着、ワクチン接種証明確認、通関手続き入国後、解散

- ・ 適用規則 : 韓国野球公認野球規則による。
- ・ 試合方法 : 10チーム (予定) トーナメント戦
- ・ 参加チーム名 : 忠州聖心学校、安山ウィルローズ、全北デフダイノス、清州ドラゴンイーグルス、忠南大田フェニックス、富川東光、高陽エンジェルス、JDBAチーム、ソンシムOBチーム、漣川郡社会人野球チーム
- ・ 使用球 : 韓国野球機構公認 硬式ボール
- ・ 表彰 :

団体賞	優勝チーム = トロフィー、副賞
	準優勝チーム = トロフィー、副賞
	三位チーム (2チーム) = トロフィー、副賞
	チャレンジグループ優勝チーム = トロフィー、副賞
個人賞	最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、優秀投手賞、最優秀監督賞
	優秀監督賞、打撃賞、ホームラン賞、ベストチャレンジ賞、フェアプレー賞 全てトロフィー、副賞付き
参加賞	全参加チーム 野球用品贈呈

- ・ コロナ感染防止対策 :
 - ソーシャルディスタンス指針に従い、行動する。
 - 例年実施 団体歓迎イベント省略
 - 競技中の選手以外の関係者はマスク着用を推奨する。
 - 毎試合開始前後にダッグアウト消毒実施
 - * その他事項は KBO が定めるコロナ対策に従う。
 - * スポーツ傷害保険加入必須

- ・ 競技規則 : 競技進行規定
 - 1) 試合進行は KBO 及び大韓野球ソフトボール協会と韓国聾啞者野球ソフトボール連盟の試合規定に従う。
 - 2) 競技方式は抽選によるトーナメント戦とする。
 - 3) 大会試合のイニングは7回とし、試合時間は2時間とする。1時間50分になったら新しいイニングは入らない。
 - 4) 試合開始時間10分を超えても現れないチームは棄権とする。
 - ※ 試合開始時間及び終了時間のチェックは審判員と記録員が行う。

- 5) コールドゲームは 3 回 15 点差、4 回 10 点差、5 回 8 点差、6 回 7 点差とする
- 6) 引き分けの場合 予選は抽選、準決勝戦は特別ルールとする。
ノーアウト 1、2 塁走者から始まる 2 回までとする。勝負がつかない場合は抽選。
- 7) 大会悪天候で試合続行可否判断は審判がする。その場合は抽選で決定する。
- 8) 大会競技審判は予選とチャレンジ は 二人審判、準決勝以上は四人審判とする。
- 9) アルミバッド使用可能とする
- 10) 試合中に必ず監督がいること
- 11) 1 チームに試合参加者のうちプロ野球選手出身は 6 人以下とする。
不正発見の場合は没収試合となり、チーム懲戒が出来る。
決勝戦の場合は両チームの同意上、選出制限なく試合が出来る。
- 12) 対戦抽選会以降、大会参加しないチームは会議を通して懲戒処分を
- 13) 試合球場の状況により、投手のみジングスパイクを着用可とする。
それ以外の選手は使用禁止とする。
- 14) 試合を故意で遅延させるのを防ぐために攻守交代時間は 2 分以内とする。
- 15) 審判判定に抗議は 5 分以内とする。超えた場合は審判員が没収試合宣言することが出来る。

*上記の規則は後日、会議を通して修正される場合は別途通知します。

- ・参加資格 : 日本ろう野球協会加入であればチーム及び選手として登録できる。
- ・参加費 : 35,000 円 (大会参加費、※PCR 検査 (韓国内)、記念品、予備費)
※PCR 検査帰国に必要な陰性証明書発行の為、現地で PCR 検査代 (英文証明書付)
134,000 韓国ウォン (約 14,000 日本円)
飛行機代 (約 5 万円)、別途自己負担 一部の食事代 (自己負担) は後日確認。
- ・申込締切日 : 参加申込書を記入して 7 月 14 日 (火) まで下記の申込先までお願いします。
- ・申込先 : 一社) 日本ろう球協会事務局 メール deafbaseball@jdba2020.jp
FAX 03-6830-4957
- ・振込先 : 金融機関 みずほ銀行
支店名 港北ニュータウン支店 (店番号 743)
口座番号 3026610
口座名義 一般社団法人 日本ろう野球協会

- ・その他：出発前に用意しなければならない書類（4点）
 - ・パスポート 最寄りのパスポートセンターで申請（約1週間）
 - ・査証（ビザ） 最寄りの韓国総領事館で申請（約2週間）
 - ・ワクチン接種証明書（紙用証明書） 各自治体で申請（即日～約1週間）
 - ・陰性証明書 最寄りの病院でPCR検査受診（最短2時間～1日）

- ・パスポートは海外へ行くには最低必要。申請書類は各自治体かパスポートセンターなど用意してありますので確認をお願いします。申請から交付まで約1週間位

- ・韓国へ入国される方は通常ノービザで入国できますが、政府間関係で当分の間は査証（ビザ）が必要になります。査証（ビザ）申請は最寄りの韓国総領事館となりますが、方法や必要な書類などは場所によって異なりますので各人が管轄する地域の韓国総領事館ホームページを確認し、申請に必要な書類の用意をした上、申請してください。（関東地方（神奈川除く）は東京。神奈川、静岡、山梨は横浜。）最近はや予約制となっている為、インターネットで必ず予約した上、行ってください。査証発給申請書や見本などは協会が用意しますので連絡ください。

- ・ワクチン接種証明書はスマホアプリ（デジタル版）として外国は使用不可なので紙用証明書での提出が必要になりますので注意してください。申請方法は各自治体で確認をお願いします。

- ・陰性証明書はPCR検査を受診し、受診したクリニックより英文用の陰性証明書発行をしなければなりません。費用は有料（5,000円～20,000円）となります。
 注意してほしいのは日本出発時間の48時間前の日より有効になりますが、それ以前の日には韓国入国不可となります。つまり、出発日は8月25日だから48時間前の8月23日から受診することになります。受診時、必ずパスポートとそのコピーを提出する必要があります。
 受診から証明書発行まで最短で2時間、あるいは翌日午後以降が多い。又はメール受診が出来るクリニックもありますので当協会に相談をお願いします。

- ・韓国滞在中、発熱、コロナ陽性が出た場合はチームから隔離となり、さらに2週間滞在入院することになりますのでご了承ください。その場合に発生する宿泊代と食事代は個人自己負担とさせていただきます。帰国の為、飛行機購入は割高となっていますので気を付けてください。